



なかの あきのぶ
中野 哲伸
自由民主党田原市議団



今後どのように道路の維持管理をしていくのか

防草舗装等の抑制対策を広く進めていきたい

道路維持活動について

- 問** 自転車走行環境の保全等の取り組みは。
- 答** 直営の道路維持班を置き、市道の日常的な維持補修や草刈りなどを行うとともに、雑草対策として、草刈り等の事後対策と合わせて防草舗装などの抑制対策に取り組んでいる。
- 問** 草の成長も早く、刈っても追いつかない状況の中、今後どのように維持管理の向上をしていくのか。
- 答** 現在試行している植樹帯などでの防草シート等の防草効果を検証しつつ、雑草抑制の工法等をコスト面・景観面など多面的に研究し、その結果に基づき、最適な手段にて抑制対策を広く進めていきたい。また、乗用型の草刈り機などを活用し、機械化を組み合わせることで、作業の効率化を図っていきたい。
- 問** 直営の道路維持班に、草刈りや除草等の専門部隊を別に編成する考えは。
- 答** 限られた作業員を柔軟に現場に配分することが、作業的には有効であり、あえて専属編成にすることは、なかなか利点を見出せない。

- 問** 道路維持整備に関わる団体活動の今後の展望は。
- 答** 企業やNPO法人などに広く参画していただくため、資機材などの貸出し、収集運搬支援など支援体制を拡充し、また、協力団体の表彰など顕彰活動を充実していくことで、ボランティア団体の増加に取り組んでいきたい。



- 問** 7年目を迎える連携型中高一貫教育の取り組みの方向性は。
- 答** 教育委員会としては、「6年間の交流で、確かな学力と豊かな人間性を育成し、田原市の発展に貢献できる生徒の育成を目指す」という大きな狙いを共有し、交流等の活動が持続可能な取り組みになるように連携していきたい。
- 問** 連携型中高一貫教育を行っている両校の生徒たちが田原市文化協会の文化祭に参加することは、地域連携という観点からも重要であると思うが。
- 答** 年間計画や授業計画にも関わるので、部会や文化協会等々の検討状況について、これらを注視していく。